

# 13. 東京都北区飛鳥晴山苑地域包括支援センター

北区の高齢者の現状として令和5年3月現在で総人口353,760人、高齢者人口85,193人で高齢化率が24.0%である。後期高齢者人口は、48,335人（高齢者人口に占める割合56.7%）で平成29年に初めて前期高齢者人口を上回った。更に高齢者のみ世帯は、48,069世帯うち高齢者単身世帯33,515また、「東京都23区内でも高齢化率3番目」に高い区となっている。当センターエリアの総人口22,933人、高齢者人口5,541人、高齢化率24.1%（令和5年3月現在）である。当センターエリアでは昨年度と比較し総人口は238人と増加傾向であるが高齢者人口はわずかであるが減っている。令和3年度「北区全高齢者実態把握調査」を実施した調査結果から、飛鳥晴山苑エリアでは家族の同居率が高い地域であることも把握した上で様々な事業、活動に取り組んだ。令和4年度もコロナ禍ではあるが、町会・自治会、学校行事、各地域のイベントも少しずつ再開されていた。そのような地域の状況からセンターも積極的に様々な事業や活動に出向きセンターの広報や講座、小学校で認知症サポーター養成講座、イベントなどに参加しネットワーク作りに取り組んだ。また、地域の課題解決に向けたフォローアップ事業として、高齢者の通いの場がない地域へのネットワーク強化を図る為社会福祉協議会、地域の訪問看護ステーションと協力し介護予防体操イベントを実施した。次年度もフォローアップ事業は、継続し地域と更なるネットワーク強化を図っていく計画である。その他に町会・自治会の掲示板、ホームページを活用し高齢者ご本人やご家族に向けた「高齢者の相談窓口」「介護予防体操教室」「オレンジカフェ」「高齢者サロン」等の取り組みについて情報発信を行った。

## (1) 介護予防ケアマネジメント事業

介護予防ケアマネジメント事業の取組として介護予防拠点施設と高齢者の方が住み慣れた地域で元気で自立した生活を過ごせるよう介護予防に関する取り組みなど情報交換、共有し連携を図った。介護予防支援事業利用者の中には、コロナ禍で感染者増加の時期にサービスを休止する方が増加したが、今年度は、再開する方や体力低下を顕著に感じ新たに介護予防に取り組む方が増加した。

表1. 地域支援事業参加人数

対象者・自主活動	事業名	実施件数
二次予防対象者	おたっしや事業	27件
	介護予防通所事業	5件
一次予防対象者	介護予防で元気はつらつサロン (3回開催)	22名
	介護予防活動対象者	自主グループ活動団体

表1. おたっしや事業は、北区全域の高齢者を対象に前期、後期と約半年間の介護予防教室を開催。前期・後期参加者が継続して介護予防が行えるよう当苑内デイサービスセンターあすか（リハビリ）の協力を得ながら後方支援に取り組んだ。また、顔見知りの住民がグループを作り地元で体操が出来る自主グループ支援を行った。

### ○ 介護予防支援事業

介護予防ケアプラン作成件数は前年度3,059件だった。

表2. 要支援1・2（ケアプラン作成件数）実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	131	130	129	128	127	130	127	130	133	133	134	136	1,568
要支援2	111	113	114	114	108	109	105	106	107	109	109	113	1,318
合計	242	243	243	242	235	239	232	236	240	242	243	249	2,886

## (2) 総合相談支援事業

表3-1. 総合相談支援件数（延べ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規件数	7	11	7	11	9	8	1	8	7	9	4	11	93
件数合計	609	571	553	539	518	585	509	503	474	537	404	552	6,354

表3-2. 相談内容別件数（延べ）

①介護保険制度・サービスに関すること	3,512
②施設入所に関する情報提供等	63
③経済的問題に関すること	74
④医療・保健に関すること	843
⑤認知症等、精神疾患に関すること	331
⑥成年後見制度に関すること	46
⑦虐待（疑い含む）に関すること	330
⑧保健福祉制度・サービスに関すること	659
⑩ケアマネ支援	365
⑪その他	2,865
合計	9,088

※前年度と比較し全相談件数は-2644と減少。高齢者の外出を自粛することで身体機能、認知機能の低下がみられ状態悪化の相談も多くあった。また、要介護者と過ごす家族の時間が増加することで関係性の悪化、介護者の失業等などによる収入減、養護者が精神的疾患を持っているなど様々な要因が相談内容に影響しているのかと推測できる。高齢者虐待に関し家族への複合的な支援も問われ社会福祉士が主導となり他専門職とチームアプローチを図り更に行政等他機関へ積極的に協力要請、連携を行い高齢者、養護者への対応に取り組んだ。認知症、精神疾患に関する相談も増加傾向。医療職や健康支援センターとの連携強化は必須な状況であった。

**表4. 委託事業実績**

事業名	回数	実施月
<b>連絡会・会議</b>		
高齢者あんしんセンター長会	2	9・R5.2月
地域包括支援センター連絡会	12	4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, R5. 1, 2, 3月
社会福祉士連絡会	1	5・9・1月
主任ケアマネ連絡会	3	6・10, 2月
看護職連絡会	3	7・11・3月
生活支援体制整備事業連絡会	5	4, 6, 9, 1, 3月
滝野川圏域地域包括支援センター連絡会	5	4・6・9・12・3月 (第4木曜日)
事務担当者連絡会	1	4, 8, 12月
介護予防事業担当者連絡会	3	5・10・3月
介護予防事業評価検討会	1	12月
認知症事業連絡会	2	10・3月
認知症カフェ連絡会	1	1月
<b>総合相談支援事業</b>		
家族介護者教室, 家族介護者リフレッシュ事業	2	8, 11月
認知症サポーター養成講座	2	4, 10, 11, 12月R5. 1月
認知症サポーター養成講座(事業者向け)	1	R5. 3月
認知症サポーター養成講座(圏域)	1	9月
認知症サポーターステップアップ&交流会(3包括合同)	1	2月
地域の担い手づくり講演会	1	6月
地域見守り支えあい活動講演会	1	3月
おたがいさまネットワーク協力団体研修会	1	10月
ふれあい交流サロン(ひだまりサロン)	21	4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, R5. 1, 2, 3 (第1・3水曜日開催)
ふれあい交流サロン(さくらのしずくカフェ)	12	4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, R5. 1, 2, 3(第2火曜日開催)
介護予防で元気はつらつサロン	3	7(2回)・R5, 3月
オレンジカフェ(認知症カフェ・物忘れ相談含む)	12	4, 5, 6, 7, 8, 10, 11, 12, R5. 1, 2, 3月
<b>在宅医療・介護連携推進事業</b>		
北区在宅ケアネット(多職種連携研修会)	2	10, 3月(オンライン含む)
<b>権利擁護事業</b>		
虐待対応スキルアップ研修	1	12月
<b>包括的・継続的ケアマネジメント事業</b>		
令和4年度北区介護支援専門員現任研修	4	3, 7, 10, 11月
北区おたがいさま地域創生会議	1	3月
地域包括支援センター運営協議会	1	3月
地域ケア個別会議/介護予防のための地域ケア個別会議	3	4, 8, R5年1月
地域包括ケア連絡会(圏域・地域ケア会議推進会議・協議体2層)	1	11月
地域包括ケア連絡会(単独)	2	2月
<b>その他</b>		
オレンジわんわんパトロール隊交流会	1	11月
北区西ヶ原3町会合同防災訓練(西部、西谷戸、南谷戸)	1	10月
情報セキュリティ研修	1	3月
ひだまりフィットネス(介護予防体操教室)	中止	新型コロナ感染症防止の為
GH運営推進会議・地域密着DS運営推進会議	4	5, 9, 11, R5. 1
認知症啓発活動	1	9月
地域交流活動(PTA小学校祭り、おやじの会等)	2	10, 11月
飛鳥晴山苑 納涼祭	中止	新型コロナ感染症防止の為
実習生受け入れ(高等看護学院)	2	5, 6月